

# 工事起工 概要書

部 長	次 長	課 長	課長補佐	係 長	課 員	審 査 員	設 計 者			
執行年度		平成 30 年度								
工事番号 工事名		第30-00-111-7-001号 30単・市道B3289号線排水整備工事 起工 設計書								
工事場所 又は履行場所		石岡市 上曾								
施工方法		請負			原契約年月日		年 月 日			
工期又は 履行期間		平成 年 月 日 から平成 年 月 日 まで 90 日間								
受注者										
費 目		起 工		第1回変更		増 減 (△)				
起 工 額								変更請負に付する工事価格 =変更積算工事価格×請負比率		
請負(委託) に付する額								請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$		
工事(業務) 価 格								(小数第7位切り捨て6位止め)		
測量試験費 又は工事雑費								変更積算工事価格 - 円		
消費税相当額								請負比率 -		
請負(委託) 決 定 額								変更工事価格 - 円		
工 事 概 要										
内 容			規格1	数量1	単位1	規格2	数量2	単位2	規格3	数量3 単位3
工事延長										
側溝布設工			KDS500×600							
集水樹設置工			700×700×1150							
変更理由										

# 工事数量総括（内訳）表

第 30-00-111-7-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
道路改良			1	式		
排水構造物工			1	式		
作業土工			1	式		床掘り(掘削) 35.000 m3 埋戻し 13.000 m3 基面整正 34.000 m2 土砂等運搬 22.000 m3
側溝工			1	式		プレキャストU型側溝 48.000 m 側溝蓋 48.000 枚
集水桝・マンホール工			1	式		プレキャスト集水桝 1.000 箇所
構造物撤去工			1	式		
構造物取壊し工			1	式		コンクリート構造物取壊し 4.000 m3 舗装版切断 51.000 m 舗装版破碎 14.000 m2
仮設工			1	式		
交通管理工			1	式		交通誘導警備員 10.000 人日
水替工			1	式		ポンプ排水 5.000 日
道路修繕			1	式		
舗装工			1	式		
舗装打換え工			1	式		下層路盤 14.000 m2 上層路盤 14.000 m2 表層 14.000 m2
直接工事費計			1	式		
共通仮設費（率計上）			1	式		
共通仮設費計			1	式		
純工事費			1	式		

# 工事数量総括（内訳）表

第 30-00-111-7-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
現場管理費				式		
			1			
工事原価				式		
			1			
一般管理費等				式		
			1			
工事価格				式		
			1			
消費税相当額				式		
			1			
請負工事費				式		
			1			

# 本工事費内訳書

第 30-00-111-7-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
道路改良									
排水構造物工									
作業土工									
床掘り(掘削)					35.000	m3			
掘削 土質(土砂),施工方法(上記以外(小規模)), 施工数量(小規模(標準))					35.000	m3			施工P 第0001号代価表
埋戻し					13.000	m3			
埋戻し 施工方法(上記以外(小規模)),土質区分( 土砂),費用の内訳(全ての費用)					13.000	m3			施工P 第0002号代価表
基面整正					34.000	m2			
基面整正					34.000	m2			施工P 第0003号代価表
土砂等運搬					22.000	m3			
土砂等運搬 土砂等発生現場(小規模),積込機種・規格(ハ ックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)),土質(土 砂(岩塊・玉石混り土含む)),DID区間の有 無(無し),運搬距離(km)(DID区間無)(3 .5km以下)					22.000	m3			施工P 第0004号代価表
側溝工									
プレキャストU型側溝					48.000	m			
深溝U字溝(歩道用・スラグ入り 含む)[土木工事標準単価] 作業区分(据付),U字側溝種類(KDS500*600 ,夜間作業の有無(無),時間的制約の有無( 無し),施工箇所による補正(無),基礎砕石 施工の有無(有),基礎砕石の種類(再生クラン チャー RB-40),基礎砕石設計数量(0.7 m3/10 m)					48.000	m			第0005号代価表

# 本工事費内訳書

第 30-00-111-7-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
側溝蓋					48.000	枚			
蓋版 (ISL-500) 作業区分(据付け), 夜間作業の有無(無し), 蓋版の種類(蓋版(各種)), 規格・仕様区 分(40を超え170kg/枚以下), 時間的制約の 有無(無し), 施工箇所における補正(無し)					44.000	枚			第0006号代価表
鋼鉄製蓋布設(長尺U字溝)(T14) [土木工事標準単価] 作業区分(据付), 蓋版の種類(T-14 500用), 夜間作業の有無(無し), 時間的制約の有無(無し), 施工箇所による補正(無し)					4.000	枚			第0007号代価表
集水枿・マンホール工									
プレキャスト集水枿					1.000	箇所			
集水枿 700×700×1150					1.000	基			第0008号代価表
構造物撤去工									
構造物取壊し工									
コンクリート構造物取壊し					4.000	m3			
構造物とりこわし 構造物区分(鉄筋構造物), 工法区分(機械施 工), 施工規模による加算(10m3未満), 時間 的制約を受ける場合の補正(無し), 夜間作業 補正(無し), 低騒音・低振動対策(不要)					4.000	m3			第0009号代価表
殻運搬 殻発生作業(Co(無筋・鉄筋) 構造物とりこ わし), 積込工法区分(機械積込), DID区間の 有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無) (15.5km以下), 費用の内訳(全ての費用)					4.000	m3			施工P 第0010号代価表
コンクリート廃材処理費(中間処 理施設) コンクリート塊(有筋) 30cm以下					11.000	t			
舗装版切断					51.000	m			

# 本 工 事 費 内 訳 書

第 30-00-111-7-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版),アスファルト舗装版厚(15cm以下),費用の内訳(全ての費用)	51.000	m			施工P 第0011号代価表
舗装版破碎	14.000	m2			
舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版),障害等の有無(無し),騒音振動対策(不要),舗装版厚(10cm以下),積込作業の有無(有り),費用の内訳(全ての費用)	14.000	m2			施工P 第0012号代価表
殻運搬 殻発生作業(舗装版破碎),積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無し)(22.0km以下),費用の内訳(全ての費用)	1.000	m3			施工P 第0013号代価表
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下	2.000	t			
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員	10.000	人日			
交通誘導警備員B 作業区分(昼間勤務(交替要員無し))	10.000	人日			
水替工					
ポンプ排水	5.000	日			
ポンプ据付・撤去工	1.000	現場			第0014号代価表
ポンプ運転工 排水方法・動力源(作業時排水 発動発電機),ポンプ台数(実数入力)(1台)	1.000	日			第0015号代価表
道路修繕					

# 本工事費内訳書

第 30-00-111-7-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
舗装工									
舗装打換え工									
下層路盤					14.000	m2			
下層路盤 平均厚さ(175mmを超え200mm以下), 材料(再生クラッシュ RC-40), 費用の内訳(全ての費用)					14.000	m2			施工P 第0016号代価表
上層路盤					14.000	m2			
上層路盤 平均厚さ(125mmを超え150mm以下), 材料(粒度調整碎石 M-30), 費用の内訳(全ての費用)					14.000	m2			施工P 第0017号代価表
表層					14.000	m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員(1.4m未満(仕上厚50mm以下)), 1層当平均仕上厚 50mm以下(50 mm), 材料(再生密粒度アスファルト混合物 (13)), 瀝青材料種類(プライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)					14.000	m2			施工P 第0018号代価表
コンクリート舗装工 人力舗設 舗設厚(20cm未満)					10.000	m2			第0019号代価表
コンクリート舗装工(材料) 鉄網 (D6 150×150) 使用量 (実数) (0 m2/100m2), 鉄筋鉄網 (D13 200×200) 量 (実数) (0 t/100m2), 補強鉄筋 (D13) 使用量 (実数入力) (0 t/100m2), コンクリートの規格(各種), 舗装厚 (実数入力) (0.1 m), アスファルト中間層の有無(無)					10.000	m2			第0020号代価表
間詰コンクリート 構造物種別(無筋・鉄筋構造物), 施工条件(打設量10m3/日未満かつ高2m以下), コンクリート規格(18-8-25 (高炉)), 養生工の種類(一般養生), 現場内小運搬の有無(無し), 費用の内訳(全ての費用)					0.500	m3			施工P 第0021号代価表
直接工事費計									

# 本工事費内訳書

第 30-00-111-7-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
共通仮設費 (率計上)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					
工事価格					
消費税相当額					
請負工事費					



第 0001 号 代価表 掘削

施工P(機32.60%, 労58.13%, 材9.27%, 市0.00%)

第 30-00-111-7-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3	32.600	%			K1
運転手(特殊)	58.130	%			R1
軽油 1.2号	9.270	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 土質	1	土砂
J02 施工方法	5	上記以外(小規模)
J06 施工数量	5	小規模(標準)

第 0002 号 代価表 埋戻し

施工P(機11.53%, 労85.22%, 材3.25%, 市0.00%)

第 30-00-111-7-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ(クローラ) [後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m <sup>3</sup>	10.820	%			K1
タンパ及びランマ 質量 60~80kg	0.710	%			K2
普通作業員	48.700	%			R1
特殊作業員	19.390	%			R2
運転手(特殊)	17.130	%			R3
軽油 1.2号	2.730	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.520	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

	条件名称	入力値	入力名称
J01	施工方法	5	上記以外(小規模)
J02	土質区分	1	土砂
J04	費用の内訳	1	全ての費用

第 0003 号 代価表 基面整正

施工P(機0.00%, 労100.00%, 材0.00%, 市0.00%)

第 3 0 - 0 0 - 1 1 1 - 7 - 0 0 1 号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	100.000	%			R1
			(標準単価 積算単価)		

条件名称	入力値	入力名称

第 0004 号 代価表 土砂等運搬

施工P(機27.43%, 労62.37%, 材10.20%, 市0.00%)

第 30-00-111-7-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級	27.430	%			K1
運転手 (一般)	62.370	%			R1
軽油 1. 2号	10.200	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 土砂等発生現場	2	小規模
J 0 2 積込機種・規格	5	バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)
J 0 3 土質	1	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J 0 4 DID区間の有無	1	無し
J 1 3 運搬距離 (km) (DID区間無)	5	3.5km以下

第 0005 号 代価表 深溝U字溝(歩道用・スラグ入り含む)[土木工事標準単価]

第 30-00-111-7-001号

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
U型側溝 L2000 1000kg以下 昼 無	10.000	m			
深溝U字溝 歩道用 KDS-500×600	5.000	本			
再生クラッシャーラン RB-40	0.840	m <sup>3</sup>			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J01 作業区分	1	据付
J02 U字側溝種類	19	KDS500*600
J03 夜間作業の有無	2	無
J04 時間的制約の有無	1	無し
J05 施工箇所による補正	1	無
J06 基礎砕石施工の有無	1	有
J07 基礎砕石の種類	4	再生クラッシャーラン RB-40
J08 基礎砕石設計数量	0.7	0.7 m <sup>3</sup> /10m

第 0006 号 代価表 蓋版

第 30-00-111-7-001 号

100.000

枚 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製 170kg以下 昼 無	100.000	枚			
側溝蓋	100.000	枚			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	据付け
J 0 2 夜間作業の有無	2	無し
J 0 3 蓋版の種類	5	蓋版 (各種)
J 0 5 規格・仕様区分	2	40を超え170kg/枚以下
J 0 6 時間的制約の有無	3	無し
J 0 7 施工箇所における補正	1	無し

第 0007 号 代価表 鋼鉄製蓋布設(長尺U字溝)(T14)[土木工事標準単価]

第 30-00-111-7-001号

100.000

枚 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製 170kg以下 昼 無	100.000	枚			
鋼鉄製側溝蓋(長尺U字溝用) T-14 500用	100.000	枚			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	1	据付
J 0 2 蓋版の種類	5	T-14 500用
J 0 3 夜間作業の有無	2	無
J 0 4 時間的制約の有無	1	無し
J 0 5 施工箇所による補正	1	無

第 008 号 代価表 集水桝 700×700×1150

第 30-00-111-7-001 号

1.000 基 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
コンクリート 構造物種別(小型構造物),施工条件(打設地上高さ2m以下),コンクリート規格(18-8-25(高炉)),養生工の種類(一般養生),現場内小運搬の有無(無し),費用の内訳(全ての費用)	1.850	m3			施工P
型枠 型枠の種類(一般型枠),構造物の種類(小型構造物)	8.800	m2			施工P
基礎砕石 砕石の厚さ(17.5cm超20.0cm以下),砕石の種類(砕石(各種)),費用の内訳(全ての費用)	1.690	m2			施工P
鋼鉄製集水桝蓋 T-14 700×700	1.000	枚			
蓋版コンクリート・鋼製 170kg以下 昼 無	1.000	枚			
足掛金物 W300	2.000	個			
合計					
			単位当り		
条件名称	入力値	入力名称			



第 0009 号 代価表 構造物とりこわし

第 30-00-111-7-001号

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
構造物とりこわし工 鉄筋構造物 機械施工	1.000	m 3			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 構造物区分		2		鉄筋構造物	
J 0 2 工法区分		1		機械施工	
J 0 3 施工規模による加算		2		10m3未満	
J 0 4 時間的制約を受ける場合の補正		1		無	
J 0 5 夜間作業補正		1		無	
J 0 6 低騒音・低振動対策		2		不要	

第 0010 号 代価表 殻運搬

施工P(機49.71%, 労37.76%, 材12.53%, 市0.00%)

第 30-00-111-7-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	49.710	%			K1
運転手 (一般)	37.760	%			R1
軽油 1.2号	12.530	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	1	Co (無筋・鉄筋) 構造物とりこわし
J 0 2 積込工法区分	1	機械積込
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 0 4 運搬距離 (km) (DID区間無)	13	15.5km以下
J 1 6 費用の内訳	1	全ての費用

第 0011 号 代価表 舗装版切断

施工P(機7.02%, 労54.79%, 材38.19%, 市0.00%)

第 30-00-111-7-001号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.500	%			K1
特殊作業員	18.790	%			R1
普通作業員	16.350	%			R2
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	35.440	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.760	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 アスファルト舗装版厚	1	15cm以下
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0012 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機8.85%, 労85.77%, 材5.38%, 市0.00%)

第 30-00-111-7-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	8.850	%			K1
普通作業員	40.110	%			R1
世話役	23.180	%			R2
運転手 (特殊)	22.480	%			R3
軽油 1.2号	5.380	%			Z1
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 障害等の有無	1	無し
J03 騒音振動対策	1	不要
J04 舗装版厚	3	10cm以下
J06 積込作業の有無	1	有り
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0013 号 代価表 殻運搬

施工P(機49.71%, 労37.76%, 材12.53%, 市0.00%)

第 30-00-111-7-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	49.710	%			K1
運転手 (一般)	37.760	%			R1
軽油 1.2号	12.530	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 殻発生作業	2	舗装版破碎
J02 積込工法区分	4	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
J03 DID区間の有無	1	無し
J10 運搬距離 (km) (DID区間無)	6	22.0km以下
J16 費用の内訳	1	全ての費用

第 0014 号 代価表 ホンゾ 据付・撤去工

第 30-00-111-7-001 号

1.000

現場 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
普通作業員		人			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称

第 0015 号 代価表 ポンプ運転工

第 30-00-111-7-001号

1.000 日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
工事用水中モータポンプ [普通型] 潜水ポンプ 口径50mm 全揚程5m		日			
発動発電機 [ガソリンエンジン駆動] 3kVA		日			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J01	排水方法・動力源	2	作業時排水 発動発電機
J02	ポンプ 台数 (実数入力)	1	1 台

第 0016 号 代価表 下層路盤(歩道部)

施工P(機5.40%, 労57.71%, 材36.89%, 市0.00%)

第 30-00-111-7-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )	2.800	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.450	%			K2
普通作業員	24.290	%			R1
運転手(特殊)	20.360	%			R2
特殊作業員	11.390	%			R3
再生クラッシャーラン RC-40	35.560	%			Z1
軽油 1.2号	1.300	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均厚さ	4	175mmを超え200mm以下
J02 材料	6	再生クラッシャー RC-40
J03 費用の内訳	1	全ての費用



第 0017 号 代価表 上層路盤(歩道部)

施工P(機5.31%, 労56.66%, 材38.03%, 市0.00%)

第 30-00-111-7-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m <sup>3</sup> (平積0.08m <sup>3</sup> )	2.750	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.410	%			K2
普通作業員	23.850	%			R1
運転手(特殊)	19.990	%			R2
特殊作業員	11.180	%			R3
粒度調整碎石 M-30	36.730	%			Z1
軽油 1.2号	1.270	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均厚さ	2	125mmを超え150mm以下
J02 材料	5	粒度調整碎石 M-30
J03 費用の内訳	1	全ての費用

第 0018 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機0.49%, 労40.40%, 材59.11%, 市0.00%)

第 30-00-111-7-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t	0.280	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg	0.140	%			K2
特殊作業員	18.170	%			R1
普通作業員	12.680	%			R2
世話役	3.680	%			R3
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(13)	54.400	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	4.580	%			Z2
ガソリン レギュラー	0.090	%			Z3
軽油 1.2号	0.020	%			Z4
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均幅員	1	1.4m未満(仕上厚50mm以下)
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下	50	50 mm
J05 材料	11	再生密粒度アスファルト混合物(13)
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0019 号 代価表 コンクリート舗装工 人力舗設

第 30-00-111-7-001号

100.000 m2 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 舗設厚	入力値 2	入力名称 20cm未満
-------	-------------	----------	----------------

第 0020 号 代価表 コンクリート舗装工(材料)

第 30-00-111-7-001号

100.000

m2 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
生コンクリート	10.400	m <sup>3</sup>			
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	126.000	L			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 鉄網 (D6 150×150) 使用量 (実数)	0	0 m <sup>2</sup> /100m <sup>2</sup>
J 0 2 鉄筋鉄網 (D13 200×200) 量 (実数)	0	0 t/100m <sup>2</sup>
J 0 3 補強鉄筋 (D13) 使用量 (実数入力)	0	0 t/100m <sup>2</sup>
J 0 4 コンクリートの規格	5	各種
J 0 5 舗装厚 (実数入力)	0.1	0.1 m
J 0 6 アスファルト中間層の有無	2	無

第 0021 号 代価表 コンクリート

施工P(機0.00%, 労32.33%, 材67.67%, 市0.00%)

第 30-00-111-7-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	14.890	%			R1
特殊作業員	8.700	%			R2
世話役	6.360	%			R3
生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉	67.670	%			Z1
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 構造物種別	1	無筋・鉄筋構造物
J 0 2 施工条件	2	打設量10m3/日未満かつ高2m以下
J 0 3 コンクリート規格	26	18-8-25 (高炉)
J 0 5 養生工の種類	2	一般養生
J 0 7 現場内小運搬の有無	2	無し
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用

## 特記仕様書

### (総則)

- 第1条 本特記仕様書は、30単・市道B3289号線排水整備工事に適用する。
- 2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

### (工期)

- 第2条 工期は、雨天や休日等を見込み、契約締結日の翌日から90日間とする。
- なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇のほか、作業期間中の全土曜日を含んでいる。

### (工事数量)

- 第3条 工事数量は、別紙「工事数量総括(内訳)表」のとおりとする。

### (工程関係)

- 第4条 全工種の作業時間帯は、下表のとおりとすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	契約締結日の翌日から 90日間

### (建設資材)

- 第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたリサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格
下層路盤工	再生クランチャー	RC-40
基礎砕石工	再生クランチャー	RB-40
表層工	再生密粒アスファルト	再密As13

### (建設機械)

- 第6条 使用機械のうち、バックホウ等については、排出ガス対策型の第1次基準値以上のものを使用すること。
- 2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。
- 第7条 使用機械のうち、バックホウ等については、低騒音(低振動)型建設機械を使用すること。
- 2 低騒音(低振動)型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、低騒音(低振動)型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

### (過積載の防止)

- 第8条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。
- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。

- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。また、これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

(交通誘導員の配置)

第9条 工事の施工にあたっては、交通誘導員2名を配置し、一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお、交通誘導員は警備業者の交通誘導業務に従事する警備員とするとともに、配置箇所等については、監督員と協議すること。

(建設副産物実態調査)

第10条 建設副産物実態調査(センサス)の対象となる建設副産物の品目については、「建設リサイクルデータ統合システム(CREDAS)」によりデータを作成後、データが保存されたFD及び出力した調査票1部を監督員に提出すること。なお、データが保存されたFD及び出力した調査票は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書第1編第1章総則1-1-18建設副産物第7項に基づく再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の提出に代わるものとする。

(建設リサイクル法に係る積算条件明示)

第11条 本工事は建設リサイクル法の対象工事である。本工事における分別解体・再資源化等については、下記の積算条件を設定している。なお、この条件は、契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであり、確認した内容が別の方法となった場合でも、契約変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情や、請負者の責によるものでない事項により、予定した条件によりがたい場合には、監督員と協議するものとする。

(1) 分別解体等の方法

工程ごとの作業内	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法(※1)
	①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

容 及 び 解 体 方 法	④本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ( )	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

※1 該当がない場合は記載の必要はない。

(2) 再資源化をする施設の名称及び所在地(※2)

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
コンクリート塊	塚田陶管	茨城県土浦市小高
アスファルト・コンクリート塊	前田道路	茨城県土浦市上坂田

※2 積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。

(3) 制約条件(搬入条件、仮置き条件等)

(再資源化等報告書)

第12条 分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、監督員の指示する様式を作成し、監督員に報告すること。

(不正軽油の使用防止)

第13条 本工事の施工にあたっては、下記の事項を遵守すること。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。
- (5) 下請契約の相手方、または燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者、または不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また、調査の際には、現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

(労働安全衛生法等の遵守)

第14条 請負人は、共通仕様書1-1-34に基づき、労働安全衛生法等関係法令を遵守し、特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不用のたて杭等における危険の防止、昇降設備の設置、墜落危険箇所の立入禁止等により、墜落・転落災害の防止措置を講じること。
- (2) 受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。
- (3) 受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手



掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工，防護網の設置，作業員の立入禁止，埋設物等による危険の防止，掘削機械等の使用制限，誘導者の配置，保護帽の着用，照度の保持等について，関係法令を遵守すること。

(4)受注者は，建設機械の操作や玉掛け作業を，法令で定める免許を有する者，または技能講習や特別教育修了者に行わせること。

(5)受注者は，掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合，地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから，地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。

(6)受注者は，土止め支保工の切り梁，腹起こしの取り付け，取り外し作業を行う場合，地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから，土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。

2 受注者は，監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは，協力すること。

(疑義)

第15条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には，監督員と協議のうえ，その指示に従うこと。



